

第25卷・第3号

昭和28年5月15日第三種郵便物認可

昭和52年3月1日（毎月1回1日発行）

牧草園藝



アメリカ農業研修スナップ写真

I とうもろこし

札幌研究農場 山 下 太 郎



飼料用F₁とうもろこしの交配様式(三系交配)の展示
— ウィスコンシン大学アーリントン農場にて —



空から見たウィスコンシン中北部地帯
ウィスコンシン州の作付は、とうもろこし、牧草、燕麦に年々しほられてきており、黄色がとうもろこし、緑色はアルファルファを中心とした牧草地である。



コンバインによるとうもろこしグレイン収穫風景
(アイオワ州)
アイオワ州はコーンステートと呼ばれ、合衆国約1/4を生産している。



多穂型とうもろこし
ウイスコンシン、イリノイ、アイオワ大学や民間種苗会社で優良品種の育成が試みられている。



とうもろこし灌水栽培圃場 (ネブラスカ州)



グレイン収穫後の圃場整備
コーンベルト地帯ではグレインの収穫が終ると直ちにデスクハローで茎稈を押し碎き、プラオで耕起する。地温の高い間に有機物を土中に還元し、更に翌春の早期播種へつなげるすぐれた方法と思われた。